

# 18年度決算認定



決算特別委員会で細部にわたり審査

## 決算特別委員会で審査

～議員から175件の質疑～

町側からの提案を受けた議会では、直ちに決算特別委員会設置し、委員長に近藤議員、副委員長に大坪議員を選出。尾作議長、原監査委員を除く16名により、3日間にわたって審査を行いました。

一般会計では、前年度と比較して歳入では2億600万円の増、歳出では1億6,500万円の増となっています。

なお、今回の決算では、本来18年度事業の消防団第5分団の車庫等新築工事設計委託の事務手続きが大幅に遅れたため、19年度予算に影響を与える結果となりました。そこで、原因の究明と未然防止策を行うよう強く求めました。(付帯決議)

今回の議会には、平成18年度一般会計・各特別会計の決算認定の議案が上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成16名、反対1名で、また、各特別会計については全会一致で可決、認定しました。

## 町長が決算議案を提出



石塚町長が決算を提出

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から、18年度は町が目指す「人と自然が織りなすまち みずほ」の実現に向けての諸事業を次のとおり実施したとの説明がありました。

### 「環境と共生するまちづくり」

- ・環境保護の基本理念である環境基本条例を制定
- ・栗原地区土地区画整理事業の準備会に助成を行い、基本計画策定に必要な調査を実施

### 「活力ある生活を支えるまちづくり」

- ・元狭山コミュニティセンターを開設
- ・武道館を改修
- ・瑞穂町国民保護計画を策定

### 「自らを高め互いを認め合うまちづくり」

- ・乳幼児医療や児童手当給付で、所得制限の緩和及び対象年齢を拡大
- ・瑞穂中学校耐震補強工事設計
- ・アメリカ合衆国カリフォルニア州モーガンヒル市と姉妹都市の締結

### 「まちづくりを推進するための施策」

- ・行政評価システムの充実

各議員の賛否は11ページに記載

一般会計予算における予算委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。



起立採決の様子（本会議）

### 反対

大坪 国広議員

18年4月より実施された国民健康保険税、介護保険料約39%の値上げは、収入減のなかで苦しむ高齢者、低所得者を直撃するため、認めることはできない。  
待機児対策では、保育園の建設計画を持つことが第一の解決策。  
少人数学級は、町独自でも実現すべき課題であった。栗原地区の区画整理は、JR八高線の複線化や新駅構想も不明確であり、再検討すべきであった。

### 賛成

小池 信一郎議員

歳入では収納率の向上がみられた。歳出では、区画整理や都市計画道路などのインフラ整備を順調に進捗させた。また、ソフト事業として、環境基本条例の制定、少子化対策では乳幼児医療費の所得制限緩和、教育では二・三小のトイレ改修に取り組むなど、バランスの取れた事業が執行されていたと認められる。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

## ●各会計の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	117億4,025万2,894円	114億8,781万2,239円
特別会計		
国民健康保険	33億7,795万8,310円	32億7,860万5,482円
駅西土地区画整理事業	7億6,839万7,325円	7億6,775万4,426円
下水道事業	11億7,391万7,149円	11億2,468万54円
老人保健医療	15億8,284万1,169円	15億2,459万1,420円
介護保険	13億741万9,628円	12億7,303万9,827円
殿ヶ谷財産区	540万2,244円	518万7,725円
石畑財産区	8,227万7,264円	8,023万4,668円
箱根ヶ崎財産区	737万2,682円	723万3,430円
長岡財産区	86万2,042円	57万926円